

会派／質問議員	質問施策区分	質問事項	質問要旨	答 弁 者
公明党 木戸 徳吉 (一問一答) 質問予定日 12月4日 午前10時～	医療	みやま診療所の今後について	美山町知井地区内に新しい医療機関が誕生した。長年、山村留学センターとして使用されていた「四季の里」を、京都市内の医療機関が取得し、週1回の診療と食育を進める機関として、11月より事業を始められた。跡地活用で、思わぬ医療機関が来ていただいたことは大変ありがたい思いである。今後、美山四季の里診療所SDとの連携や、みやま診療所自体の在り方について、どのように考え、ともに進めていこうとしているのか伺う。	市長 担当部長
	防災減災	EPZ内における財政支援制度見直しについて	①石破前政権時に原発の財政支援が10キロ圏から30キロに拡大された。本市の美山地域のほとんどが30キロ圏に入っているが、交付金や特別措置法の対象地区に入ったと理解していいのか伺う。	
			②特に避難道路整備は喫緊の課題であると認識している。本市においては早くから、「洞峠トンネル」や「鏡坂トンネル」を求める要望がなされているが、今回の措置を契機に、市として促進に向けて府に強く要望すべきと考えるが市長の所見を伺う。	
	環境衛生	「合併処理浄化槽」に対する財政支援について	①合併処理浄化槽に関する質問を令和4年12月議会で行った。更新等について財政支援を訴えたが、府内自治体で支援しているところは無いとの答弁であった。9月定例会での決算審査で同僚議員の質疑で「今後は老朽施設の更新に補助金をシフトする」との答弁があった。これは府及び国がそのように決めたことなのか伺う。	
			②補助金を支出するにあたり、例えば、今は8人槽を設置しているが2人になったので、4人槽にしても補助金はあるのか、また故障等についても出るのか伺う。	
安全・安心のまちづくり	防犯カメラ設置について	近年、安全に関する状況が厳しくなっている。全く関わりの無い人が暴漢に襲われたりして不安を感じることがある。防犯カメラの活用で、犯人逮捕や交通事故原因の究明がなされている。今騒がれている「クマ」の姿を捉えた映像も放映されたりしている。本市においても安全・安心の確保のため、区や個人が防犯カメラを設置する場合、たとえ少しでも支援すべきと考えるが市長の所見を伺う。		
日本共産党 議員団 小林 毅 (一問一答) 質問予定日 12月4日 午前11時～	市政執行と法令順守	法令を順守する南丹市であるよう求めたい	①旧農村田園文化コミュニティセンターの地区計画決定について、市都市計画審議会は附帯意見の中で、「現在の建物使用用途が都市計画法に適合するよう速やかに許可権者の指示に従い是正されるよう市として対応する」よう求めている。許可権者である京都府は、「操業の休止・中止を求めてきた」。市は、JA京都に退去、操業の休止・中止を求めなければならない。	市長
			②あわせて、附帯意見は、「関係者に法令順守の徹底を図るよう厳格な指導」を求めている。旧田園コミセンの違法状態に係る関係者はJA京都と南丹市である。市が「法令順守の徹底」を指摘される事態を引き起こし今も継続している。市政の大本が揺らいでいる。市民の市政への不信を解消し信頼を回復していくためには、JA京都の一旦退去、操業休止・中止しかないのではないかと。	
	八木町氷所地内の豚舎・牛舎からの汚水滲出		①氷所前林21-5の屋敷への隣接豚舎/牛舎からの大量の汚水滲出が繰り返されている事態について、法令にもとづく市/府の措置・指導はどうなっているか。	
			②大量の汚水滲出が繰り返される要因はどこにあるのか。牛舎/豚舎の2階に住居があるが、都市計画法・建築基準法上の問題はないのか。	
			③現状はただちに解消されなければならない。事態解決への市の決意を明らかにしていただきたい。	

会派／質問議員	質問施策区分	質問事項	質問要旨	答 弁 者
つなぐ 山下 秋則 (一問一答) 質問予定日 12月4日 午後1時～	事業実施	環境計画推進事業における国の交付金について	環境計画推進事業(南丹市サステナ・リビング構想事業)における国の新しい地方経済・生活環境創生交付金(第2世代交付金)について	市 長 担 当 部 長
			①本市のこの事業における同交付金の対象事業費は幾らか。確認する。	
			②BTO型PFI事業における同交付金の要綱上の補助対象事業費の考え方は。	
			③本事業におけるこれまでの説明では、施設整備や施設の維持管理運営を含め、3セクへの出資金以外に市の持ち出しは無いとの説明であったが、そのとおりなのか。再度確認する。	
		環境計画推進事業における契約行為と議会の議決について	環境計画推進事業(南丹市サステナ・リビング構想事業)の施設整備から整備完了後の施設の維持管理・運営開始までの間における議会の議決等との関わりについて	
			①実施方針(案)では「事業契約」を締結するとしていたが、事業者公募段階の実施方針では事業契約の文言が無くなった。文教厚生常任委員会の質疑で、「補助金としてSPC事業者に支出するから事業契約は不要と判断。その代わり協定を締結する」との答弁であった。今回の事業を「PFI法上の事業」と位置付けているのか、それとも「PFIではない単なる補助事業」と整理しているのか、どちらなのか。「南丹市サステナ・リビング構想事業実施方針」の「支払に関する項目」では、「施設整備対価等の支払いは」との記載との整合性はどうか。	
			②SPCが施設を建設し、完成後、所有権は市に移転。その後20年規模でSPCが運営するというのが今回の事業スキーム。これは、単なる補助金交付ではなく、施設整備と運営を一体で拘束する事業スキームであるとする。予算に計上されているSPC事業者への支出を「単なる補助金」と整理する法的根拠は何か。	
			③「補助金を支出するだけであるから議会の議決は不要」との文教厚生常任委員会の答弁であったが、SPC事業者による施設整備工事竣工時に施設の所有権が市に移転するとするが、これは有償なのか、無償なのか。有償なら「予定価格2,000万円以上の不動産若しくは動産の買入れ」に該当し、無償なら、施設の管理運営権付きの「負担付きの贈与を受けること」(地方自治法第96条第1項第9号)に該当するのではないか。そうなれば議会の議決が必要ではないか。	
		環境計画推進事業で整備する施設の維持管理運営における課題について	④「民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律」(PFI法)の第12条では、「地方公共団体は、事業契約でその種類及び金額について政令で定める基準に該当するものを締結する場合には、あらかじめ、議会の議決を経なければならない」とし、本案を受けて同法施行令第3条では、「選定事業者が建設する公共施設等の買入れ又は借入れ事業契約で、予定価格の金額が1億5千万円以上の場合」は議決が必要とされている。仮に交付する補助金の額が買入れに当たるとすれば、契約が必要となるのではないか。必要としない根拠は何か。	
			完成後の施設の維持管理運営について	
			①維持管理運営方法は、どのような方式になるのか。	
			②文教厚生常任委員会の所管事務調査に提出された資料では「運営権」とされているので、コンセッション方式と考えるが、指定管理との違い及びコンセッションの場合の市側のリスクや課題をどう認識しているか。	
			③本事業の経営が赤字となった場合や施設の大規模修繕が必要となった場合、市は財政負担をするのか。	
			④施設の維持管理運営に係る議会の議決や審議などの関与はどのようなのか。	
			金融機関との直接協定について	
新誠会 面村 好高 (一問一答) 質問予定日 12月4日 午後2時～	公共施設	八木バイオエコロジーセンターについて	①我が会派では家畜ふん尿を利用する最新鋭の民間バイオマスプラントの視察をおこなった。当施設は最新の技術を導入し、スケールメリットを生かした運営がされていた。逆に本市の八木バイオエコロジーセンターは供用開始後27年が経過しており、当時はフロンティア的な事業であったが、現在では技術は遅れ、老朽化も著しく本市の財政を圧迫しているが現状について伺う。	市 長 担 当 部 長
			②令和5年9月20日付で議会から附帯決議が決議された。しかし2年以上が経過する中で何等進展が見られない。財政的見地からも施設の閉鎖や民間への譲渡等、政治的判断が求められる時だと思料するが所見を伺う。	
	都市計画	都市計画区域における線引きについて	①本市では市街化調整区域において開発行為を許容する手法として地区計画が指定されている。これまでは八木町室橋区の集落維持型や旧小学校施設が施設利活用型として地区計画の指定がされてきた。しかし今回、新しい形態で旧農村田園文化コミュニティセンターが指定されようとしている。今後、民間事業者が調整区域内の建物を使用する場合も同様の形態とすることが可能か伺う。	
			②10月30日開催の都市計画審議会では委員から、市街化調整区域内での地区計画の指定の拡大や、そもその区域区分の線引きを見直す必要性についての意見が出された。全国的には少子高齢化が進む自治体において線引きを廃止する動きが活発である。本市においては線引きが義務ではあるが、国に対し法律改正を求め、線引き廃止を目指すべきと思料するが所見を伺う。	
	環境	サステナ・リビング構想事業について	①木質チップ工場、大型蓄電池、太陽光発電等をPFI事業の独立採算型で実施する当事業はサービス提供型と違い、明確な収益性が求められる。過去のPFI事業における失敗事例は独立採算型が多いとされている。その中でこれまでの常任委員会審議や所管事務調査では明確な収益性の説明がなされていない。リスク回避できるといえども他人事では済まされない。収益性について詳細な説明を求める。	
			②本事業は今年度と来年度で総額約27億円を超える大型事業である。これほどの事業にもかかわらず、これまでは議会に対し納得できる説明がない。今後の議会への説明や係わりについて伺う。	

会派／質問議員	質問施策区分	質問事項	質問要旨	答 弁 者
活緑クラブ 若井 睦巳 (一問一答) 質問予定日 12月4日 午後3時～	行政組織 地域振興 まちづくり 防災 農林業 観光	南丹市サステナ・リビング構想事業について	9月議会において、令和7年度一般会計補正予算(第4号)の新しい地域経済・生活環境創生交付金(第2世代交付金)に関し、議会の意見は大きく2つに分かれた。それを踏まえ以下の点について伺う。	市 長 担 当 部 長
			①財政健全化プラン緊急対策において、補助金や事務事業が見直され、施設の統廃合を進める中で、何故今このタイミングでこの事業が本市において必要なのか。	
			②本市ホームページに「南丹市サステナ・リビング構想事業に係る公募型プロポーザルの実施について」としてあがっている。この事業の名称については、これまで議会として正式に聞いたことはない。この名称になった経緯と、この名称に込めた思いについて伺う。	
			③公募状況と審査結果について。	
			④選定事業者に何を求めているのか。また、本市はどのような役割を果たそうと考えているのか。	
			⑤本事業は大きく8つの事業から構成されている。実施方針には「市内各地域に点在する観光・エネルギー・農業・防災等の分野を横断的に結び付け、地域内資源を循環させる」と記載されている。相乗効果や地域経済への波及効果などはどのように考えているのか。	
			⑥選定事業者だけでなく市民も巻き込んだ形で事業実施が望ましいと考える。本事業により将来どのような本市を考えているのか。	
			⑦事業の推進体制について。	
			⑧本事業が破綻しないよう議会も市民も監視していく必要がある。その際、情報の共有は大変重要になる。知らないうちに何かが決まっている、変更されたということがあってはならない。この点、どのように考えているのか。	
塩貝 孝之 (一問一答) 質問予定日 12月4日 午後4時～	環境	南丹市サステナ・リビング構想事業について	①現在までの事業進捗状況について。	市 長 担 当 部 長
			②市の負担は無いと説明されてきたが、制度の詳細について。	
			③出資会社の詳細について。	
			④担当課の負担が大きい事業であるとするが、全庁での取組みに発展しているか。また、現在に至るまでの委員会説明資料や公募要件など、事業に関わる全ての書類について、担当課のみで作成されてきたのか伺う。	
	行政	郵便局を活用した行政サービスについて	マイナンバー申請業務や各種証明書の発行など、郵便局への事務委託を検討・実施すべきであるとするが見解を伺う。	
		市民意識調査の活用について	アンケート調査結果によると、本市の住みにくさは交通網の利便性にあり、魅力的で住みやすいまちにするには公共交通の利便性向上だという結果が示されている。様々な施策も必要であるが、重要施策として市民の移動手段について早急な手立てが必要ではないか。	
	行政組織	職員の配置及び役職定年について	①仕事量と人員のミスマッチが生じていないか。また適性を充分に見分けた人員配置となっているか伺う。	
			②役職定年制がとられているが、人材不足の観点や適材適所の人員配置を促すためにも廃止すべきであるとするが見解を伺う。	
日本共産党 議員団 河野 啓介 (一問一答) 質問予定日 12月5日 午前10時～	まちづくり	合併の評価に関して	①人口の減少が問題視される中、本市「周辺部」ではその現象が特に著しくなっています。根本的には広大過ぎる面積を有していることが原因です。市長の所感を伺います。	市 長 担 当 部 長
			②合併に至った経緯を振り返ると、現状はその目指したところと違ってきているのではないのでしょうか。	
		合併の解消を視野に入れた各地域の自治権の確立	①新潟県上越市の地域自治区の取り組みなど参考にしながら、地域の自治能力を伸ばすことを考えてはいかがか。	
			②合併解消を視野に入れるべきではないか。	
		現在の北陸新幹線延伸計画に明確に反対を	①本年1月に京都府と鉄道運輸機構に提出された要望書への返答あるいは何らかの反応はありましたか。	
			②これまでの北陸新幹線小浜コース延伸計画に関する推移を振り返ると、多くの問題が指摘されているにも関わらず、当局の対応はあまりにも不誠実と言わなければなりません。いまこそ、明確に白紙撤回を求めて、本市が抱える憂いを一掃すべきと考えます。市長の所見を伺います。	

会派／質問議員	質問施策区分	質問事項	質問要旨	答 弁 者
つなぐ 吉田 尋子 (一問一答) 質問予定日 12月5日 午前11時～	くらし	クマの出没状況と対策について	①直近5年間の熊出没件数と、地域別の傾向をどう分析しているのか。その背景要因を、市としてどのように捉えているのか。	市 長 担 当 部 長
			②熊出没情報の伝達手段の状況は。課題をどう認識しているのか。また住民が確実に受け取れる多重伝達の強化を検討しているか。	
			③学校・教育委員会と市役所との連携はどのように行われているのか。通学路やバス停利用時の安全確保に向け、見守り活動やパトロールの強化を検討しているか。	教 育 長 担 当 部 長
			④クマ対策のためにも里山整備をすることは必要と考える。里山整備の中長期的な計画はあるか。森林環境譲与税をどのように活用していくか。	
	市民サービス	市民への広報と、広聴について	①市民意見を政策へ反映するため、体系的な広報・広聴体制の整備が必要と考える。併せて、オンラインやSNSなど多様な手段を活用し、意見を届けやすい環境づくりを進めるべきである。また、若い世代の声を市政に取り込む仕組みも求められる。本市の考えを問う。	市 長 担 当 部 長
			②市民が提出した意見の内容や市の対応、反映状況を明確に示すことは、市政への信頼向上につながる。本市の取り組みの状況は、今後取り組む考えはあるか。	
			③計画策定や事業実施をする際に、パブリックコメントだけでは反映の幅に限られるため、早期段階から市民と意見交換する仕組みが必要と考える。考えを問う。	
			④市民参加を単発に終わらせないために、継続的に意見交換ができる場(市民会議、テーマ別会議など)が必要。設置する考えはないか。	
新誠会 堤 博明 (一問一答) 質問予定日 12月5日 午後1時～	公共施設	小学校跡施設について	①サウンディング型市場調査の進捗状況について伺う。	市 長
			②摩気小学校跡施設を活用していただく事業者が決定した後の手続きについて伺う。	
			③サウンディング調査後のプロポーザルで事業者が選定できなかった場合、施設をどのように管理するか伺う。	
	福祉	国の介護保険制度見直しについて	国の制度見直し動向に関する認識について	市 長 担 当 部 長
			①本市の厳しい財政状況において、総合事業の見直し「給付範囲の拡大」や「国庫負担割合の変更」といった可能性が本市財政に与える影響度の深刻さについて、どのような危機意識を持って認識されているか伺う。	
			②制度見直しは市町村にとって事務負担や財政負担が自治体の創意工夫を阻害しかねない。この点について国に対し、財源保障を伴わない形での制度改正を行わないよう、具体的にどのような場で、どのような形で意見具申や要望活動を行っているか、その内容と進捗状況を伺う。	
			総合事業の財政健全化とサービス維持の両立について	
			①本市が展開している総合事業で「生活支援体制整備事業」や多様なサービスといった、住民の自立支援や共助の精神を活かした取り組みについて、どの程度、介護給付費の抑制効果を生んでいると評価されているか伺う。	
			②総合事業の費用負担は公費と保険料が折半であるが、保険料単独での負担割合が高まれば市民の負担増になる。本市では財政健全化と住民負担の抑制を両立させるため、どのように進めていくのか伺う。	
	農業	明治国際医療大学の新設学部について	①農学部を新設されるが、本市との連携について伺う。	市 長
			②本市の資源を活用した取り組みを提言してはどうか伺う。	
新誠会 前田 義明 (一問一答) 質問予定日 12月5日 午後2時～	商工観光	本市のまちづくりについて	まちづくりのひとつには企業誘致や観光、移住、宅地開発などのさまざまな要素が重なり合って形成されます。現在、新たな産業用地の拡張としてKPCスポーツセンターの用地や、他に大きく進んでいる事業があれば進捗状況をお聞かせいただきたい。	市 長
			①この大会についてどのようにお考えなのか。	
	文化芸術	第51回全日本愛瓢会(京都府 南丹市大会)展示会について	②2026年は、この大会と9月に全国都市緑化フェアin京都丹波が開催されるが、本市を全国にアピールできるチャンスでは。	

会派／質問議員	質問施策区分	質問事項	質問要旨	答 弁 者
活緑クラブ 村山 好明 (一問一答) 質問予定日 12月5日 午後3時～	防災・安全	豪雪対応・備えについて	近年は、地球温暖化による異常気象の影響と思われる様々な災害が全国的に発生している。本市の災害に対する対応等について以下の通り伺う。	市 長 教 育 長 担 当 部 長
			①豪雪時の備えは。	
			②道路への倒木対策は。	
			③地域で行っているトラクター等による作業等の課題認識は。	
			④豪雪時の停電対応及び関係機関との連携は。	
		大規模地震に対する備えについて	①停電対策は。	
			②上下水道対策は。	
			③道路対策は。	
			④食料確保対策は。	
		クマ対策について	①本市のクマ対策及び出没状況は。	
			②小中学校等の通学時等の安全対策は。	
			③今後の対応策は。	
		防災無線について	①豪雪、地震、停電、火災等の災害時における現在の運用は。また、クマ出没時の運用は。	
			②防災無線は、災害時、市民に素早く危険等を情報提供するには最も有効である。今後、運用拡大が必要と感じるが、本市の考えは。	
	被害対策 過疎対策	被害防止対策について	全国の野生鳥獣による被害は年々増加傾向であり、令和5年度の被害額は164億円である。本市においても、多くの被害があると想定し、以下の内容を質問する。	市 長 担 当 部 長
			①本市の被害状況を伺う。	
			②本市の被害対策は。	
			③被害防止柵の設置状況は。	
			④老朽化で補修修繕等の必要な被害防止柵が発生しているが、どのような支援が可能か伺う。	
		過疎・地域維持支援について	①人口減少は全国的な傾向でもある。本市においても急速な過疎化が進展しているが、今後、人口減少で地域の維持が厳しい地域が多く発生すると予想される。現状を踏まえ、本市の認識は。	
			②行政として、今後、地域の維持にどのような支援が可能か伺う。	
活緑クラブ 下間 康広 (一問一答) 質問予定日 12月5日 午後4時～	農林業	今後の農業振興について	山間部の多い本市の農業を、維持・発展させていくには行政としても戦略が不可欠であるとする。現状をふまえ2点伺う。	市 長 担 当 部 長
			①現状として担い手や後継者不足を言われ続けている。市としての今後の方針は。	
			②平地・山間部・中山間と地形により戦略は変わると考える。不利地と言われる山間部・中山間地域の今後の農業戦略をどう捉えているか考えを伺う。	
		今後の林業振興について	山間部が多い本市では森林整備は避けて通れない課題である。今後の森林整備について市としての考えを2点伺う。	
			①現状をどう捉えているか。	
			②組合だけ、民間・個人だけではなく、林業に関わるすべての方が参画しやすい体制を構築すべきではないかと考える。市としての考えを伺う。	
	地域	地域活性について	①交流人口・関係人口の創出以前に、いま暮らしている市民の活力創出や安心して暮らせる環境づくりが必要ではないか。	
			②各地域にはそれぞれの分野で活躍されている方々がいる。本市全域の活性化を目指し、人と人をつなげるような官民連携のとれる体制作りをするべきではないか。	

会派／質問議員	質問施策区分	質問事項	質問要旨	答 弁 者
つなぐ 谷尻 宣雄 (一問一答) 質問予定日 12月8日 午前10時～	まちづくり	大型事業について	「学校給食共同調理場」「サステナ・リビング構想」「園部インターチェンジ北地区産業団地整備事業」等大型事業が実施計画されているが次の点についてお伺いする。	市 長
			①市長の任期最終年度において大型事業が集中している。現在の任期中には、その方向性や具体的な成果がでないものもあると考える。今後、引き続き市長として、これら事業を進められることが必要であると考えますが市長の所見を伺う。	
			②大型事業についての概要を市民へ広報することが必要であると考えますが市長の考えを伺う。	
	地域振興・観光	全国都市緑化フェアin京都丹波について	本市は令和8年秋に、全国都市緑化フェアin京都丹波を開催予定であり、園部公園及び周辺を会場として、現在園部公園整備が進められているところである。同フェアは、食農と環境そしてアートで輝く「京都丹波」をテーマに市民の環境保全意識の醸成、交流人口の拡大、地域経済の活性化を図ることを目的とする全国規模の催しであるが次の点について伺う。	市 長 担 当 部 長
			①会場となる園部公園整備工事の現時点における進捗状況と完成予定の時期は。	
			②フェアを契機に、市民への環境・美化意識の向上を進めるため、どのような施策を講じるのか。	
			③来訪者と地域住民との交流促進に向けた取り組みは。	
			④2市1町それぞれの全体の予定来訪者数は。	
			⑤来訪者への交通機関(JR等)確保の考えは。	
	農業	土地改良事業について	八木町西田前島地区において次年度から農地中間管理機構関連農地整備事業による圃場整備事業に取り組む予定がされている。国の農業政策が新たな内閣によりコメの増産体制から生産調整へと変更されたが次の点について伺う。	市 長 担 当 部 長
			①国の農業政策の変更により、地元でこれまで取り組んできた事業内容の変更はないか。	
			②今後、地元で進める事業に対する市の支援の考えを伺う。	
新誠会 樋口 浩之 (一問一答) 質問予定日 12月8日 午前11時～	まちづくり	まちづくり基本条例について	市民参加と行政運営の継続性を高めるため、ニセコ町の事例に見られる「まちづくり基本条例」の導入可能性について、本市の評価と検討状況、市民参加プロセスの考え方を伺う。	市 長 担 当 部 長
	教育施策	部活動地域展開について	①教員の勤務実態、顧問の確保状況、生徒数の推移を踏まえ、本市の運動部活動を今後も現在の形態で維持できると考えているか、基本的な認識を問う。	教 育 長 担 当 部 長
			②市内スポーツ団体が協力の意思を示している現状をどう捉え、外部指導者や地域クラブとの連携を本市としてどのように評価し、どのような可能性を見出しているのかを問う。	
			③教育委員会が「委託型地域クラブ活動は目指さない」とする理由を明確にするとともに、懸念が解消される場合の検討余地、また持続可能な部活動体制の構築に向けて将来的な選択肢と位置づける考えの有無を問う。	
	観光施策	南丹市観光ビジョンの再構築について	①南丹市の観光の将来像をどのように描いているか。また、観光政策の目的(経済活性化、関係人口、ブランド形成等)をどのように整理し、市民・事業者・行政が共有できる形で明確化していくのか伺う。	市 長 担 当 部 長
			②南丹市の観光ブランドをどのように形成し、美山・園部・日吉・八木の地域資源をどのように束ねていくのか。あわせて、ターゲット設定(STP分析)、来訪者データ・消費動向データの収集分析、SNS・WEB等を活用したデジタルマーケティングをどのような戦略で進めていくのか伺う。	
			③美山に集中する観光客を市内各地域へ回遊させるための観光動線をどのように再設計するのか。また、全市的な多言語案内の統一、QR誘導・AI案内・アプリ等を含む観光DXの推進、JR園部駅を基点とした観光拠点化など、訪問者体験(UX)向上の施策をどのように展開していくのか伺う。	

会派／質問議員	質問施策区分	質問事項	質問要旨	答 弁 者
新誠会 仲村 学 (一問一答) 質問予定日 12月8日 午後1時～	危機管理	クマ対策について	東北地方を中心に人がクマに襲われる被害が多数発生している。本市でも多数目撃情報が寄せられている。緊急放送や緊急銃猟の訓練などが必要だと考えるが、本市の現状や今後の対策等を伺う。	市 教 育 長
	医療	AEDについて	本国では約70万台のAED(自動体外式除細動器)が設置されており、世界一となっているが、心肺停止後の生存率は欧米と比べて大変低い。適切な使用方法や設置場所等について伺う。	
	生活支援	物価高対策について	政府は総合経済対策を決めた。先ず重点支援交付金の拡充から、国はおこめ券の配布を推奨しているが金券には商品券など数種類がある。市民ニーズに合致する金券の配布が望まれると考える。また電気・ガス代支援や物価高対応子育て応援手当についても対象者や支給時期等、今後の計画について伺う。	市 長
	交通ルール	自転車の青切符制度について	2026年4月1日から16歳以上を対象に、自転車の交通違反に対して青切符制度が導入され、取り締まりが強化される。市としても周知や講習会の開催などを行うことが望ましいと考えるが、今後の計画について伺う。	市 教 育 長
活緑クラブ 八木 信樹 (一問一答) 質問予定日 12月8日 午後2時～	交通安全対策	八木中学校前道路の交通安全対策について	八木大藪環状交差点から病院前(八木大藪線)までの区間は、道路が狭くなっている箇所が点在し、特に通勤・通学時間帯には、交通量が増加すると共に、速度を出す車も見受けられる。こうした状況は、子どもだけでなく住民の安全確保の観点からも早急な交通安全対策が求められる。八木中学校PTAから寄せられた要望も踏まえ、今後どのように進めていけるか、教育長に伺う。	教 育 長 担 当 部 長
		八木町鹿草交差点の交通安全対策について	鹿草交差点においては、踏切と国道が並行していることから、住宅地から国道へ、また国道から住宅地に入出入りする際、交差点で信号待ちの大型車両が停車している場合には、住宅地への出入りが困難な状況である。また、当該交差点では、過去に交通事故も発生していることから、停止線位置の見直しを含め、さらなる安全対策が必要であると考えますが市長の見解を伺う。	
	道路	八木町本町6丁目から本郷間の道路整備について	鹿草交差点に隣接する踏切では、大雪による列車の遅延が発生した際、踏切遮断機が下りたままとなり、国道から住宅に戻れない状況が発生する。このような実情を踏まえると本町6丁目から本郷区間の東所川の管理道の整備を行い、住民の安全な生活道路として活用できるようにすべきと考えますが市長の見解を伺う。	市 長 担 当 部 長
		JR八木駅東口周辺整備について	6月の一般質問において八木駅東口周辺の国道9号については、現在、十分な歩道もない状態で、通行上危険な姿であるというふうに認識していると市長答弁があり、部長からも地元の方々と対話をして、思いを共有させていただいた後に、関係機関等も要望を持ち上げて事業を進めていきたいとのことであった。こうした経過を踏まえ、JR八木駅東口周辺整備促進協議会との対話をさらに進め、安全な道路整備に向けて要望を行っていく必要があると考えが見解を伺う。	
	行財政運営	市の課題と今後について	市長就任後、これまで取り組んでこられた各種施策には進捗がみられる一方で、今後も解決すべき課題が残されていると認識している。将来の南丹市を展望した際、限られた財政状況の中にあっても、移住・定住促進、産業の振興、医療体制、教育環境の整備、企業誘致、賑わい創出、交流人口の拡大、交通安全対策や道路整備、公共施設の改修、さらに近隣自治体との広域連携など、多岐にわたる施策を着実に進めていく必要がある。そのために国、府、民間からの投資や支援をさらに呼び込み、本市の発展につなげていくことが重要であると考え。これらの課題認識と今後の施策展開はどうあるべきか市長の見解を伺う。	市 長